

手描きの魅力提案 ぺんてる新製品発表展示会 ラメだけの筆ペン発表

り、一般企業だけでなく教育面で生成AIの活用が急速に広がっている。一方で、問題点やデメリットも存在する。教育IT先進国のスウェーデンは子どもたちの読解力低下という調査結果を受けて、学校では紙と鉛筆のアナログ教育へ回帰しているという。AIの進化に伴う人間の持つ知性や創造性の衰えも懸念されている中、ぺんてるは絵描きや手書きのアナログの価値を伝えるための活動『ぺんてるアーツ』は今



石垣社長（左から2人目）を囲んでのフォトセッション

が、高いと感じる人も多く、ぺんてるアーツではそうしただけでなく、人々を後押ししたい。昨年発表した浮遊感のある新感覚のボールペン『フローチューン』や大人のたのびの『アートクレヨン』は弊社が目指す方向性を示す製品。今年もぺんてるアーツを体現する新製品として、グリッターだけの筆ペン『スターフレックフラッシュ』を発表した。単体の使用はもちろん文字やイラストの仕上げに描き足しすることで、文字やイラストを華やかに盛り上げることができ、今回の展示会ではいま一歩を踏み出せない

本イラストシーンを代表する作家・ケビンばやしさんのコメント、アートを日常に感じ、さあやってみようという行動を促す動画制作ワークショップと体験コーナーについて説明の後、マーケティング課の製品担当者が新製品を説明した。

【新製品の概要】
グリッターだけの筆ペン『スターフレックフラッシュ』（単色550円、限定セット1650円、7月18日発売）、ノック1回ですく書けるシャープペンシルをコンセプトにしたリニューアルしたシャープペン「オレンズ」（8月28日発売、単品220円、紙箱入り7本セット1540円、9月19日発売）、ラメ顔料インキボールペン「デュアルメタリック」（単色253円、7色セット1711円、14色セット3542円、10月31日発売）、製図用シャープペン60周年記念商品「製図用シャープペンシル60周年」（限定カラー1000・1650円、限定カラーブラック500・1100円、限定カラーホワイト数万人の日

CO2削減するノート

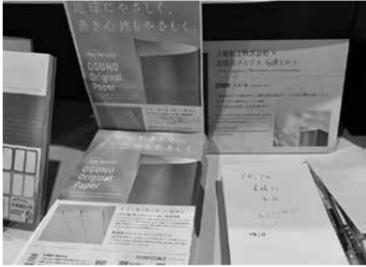
文房具ソムリエ 石津大氏と大栗紙工が共同開発

文房具ソムリエ・石津大氏が代表を務める株式会社ストーンジョナリマーケッとは、大栗紙工株式会社（大栗康英社長、大阪市）と共同開発し、世界初の技術で二酸化炭素（CO2）を閉じ込めた未来の紙「OGUNO オリジナルペーパー」を開発した。大阪・関西万博では、2050年のカーボンニュートラル（脱炭素）が達成された社会を目指し、会場内で発生する廃棄物の削減やリユース、リサイクルなど先進的な取り組みを行っている。

万博会場で初公開された未来の紙「OGUNO オリジナルペーパー」は、CO2を資源として、7月2〜6日に初公開

CU）を活用することで脱炭素社会実現への貢献を目指している。

紙の白さや不透明度を出すために、原料に炭酸カルシウムを使用、国内の工場から排出された排ガス由来のCO2とカルシウムを多量に含む産業廃棄物を化学反応させて作った人工の炭酸カルシウム（CO2活用炭カル）を紙の原料に使うことで、紙1トあたりに33kgのCO2を閉じ込める



万博で初公開された未来の紙「OGUNO オリジナルペーパー」

再生紙など環境に配慮した紙は一般的に書き心地が良くないものが多いが、石津氏が監修したOGUNO オリジナルペーパーは、インクのにじみや裏抜け防止、なめらかな書き心地など筆記性能にも優れている。

デジタル時代にあるが、「手書き文化」が見直されており、全国各地で開催される文房具の展示・販売イベントも盛況で、ノートや手帳デコ、絵やイラストをSNS投稿する人も増えている。

そのよつなこだわりを持つつ人も納得してもらえら

約3万冊分。

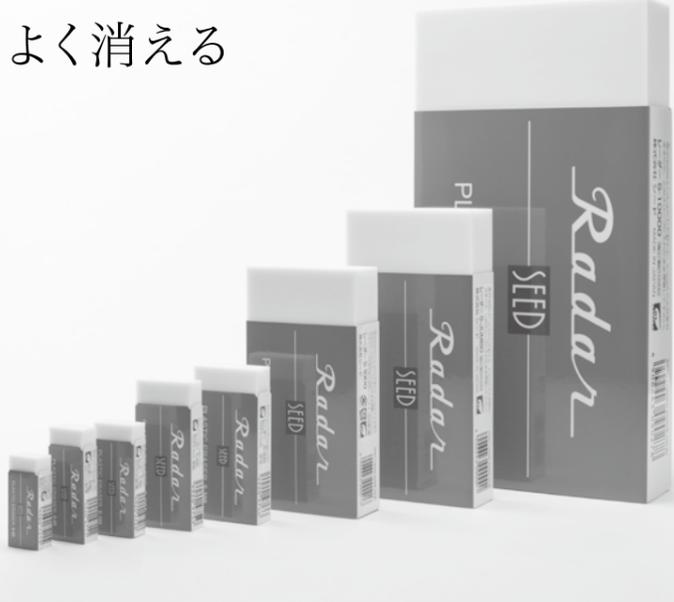
「理想の書き味」を徹底的に追及し、未来の紙「OGUNO オリジナルペーパー」が誕生。世界初となるCO2活用炭カルシウムを紙の表面に塗る工程により、裏抜け防止、なめらかな書き心地など筆記性能にも優れている。

会場では、「アートを日常に！」を行動に促すイベント企画として、3人のアーティストによるライブドローイング、アートクレヨンの特徴を体験しながら空の絵を描くワークショップ、ポイントライナーでステンシルシートをなぞってのアートフラッシュで色を塗るだけで完成する気軽に楽しむお絵描きワークショップ、パーツの組み合わせが体験できるシャープペンファクトリー、新製品の体験コーナーなどが用意され、好評を博した。

限定発売で好評の「デュアルメタリック」が定番新製品として今秋発売されることになり、マットホップ、デュアルメタリック、ミルキーの3ブランドを統合した「Inktopia（インクトピア）」（inkxutopia）理想の世界シリーズを立ち上げ、カラーフルで個性的なインキを使い、表現の幅を広げるツールとしてアピールする。

手書き・手描きの楽しさを店頭から消費者に伝えてもらうことを目的に実施している「Pentel Arts」店頭陳列コンテストの第3回を8月20日、10月20日まで実施する。

紙面にやさしく、よく消える



Radar
SINCE 1968

SEED 株式会社シード | www.seedr.co.jp | 西日本営業：TEL 050 (3160) 2739 | info@seedr.co.jp

シワになりやすかった液状のり... **プリントをピシッとキレイに貼れます!**



プリントがきれいはれるのり

アイキ